

2017年度第1四半期決算 電話会議 資料

2017年 8月 9日 (水)

立ちどまらない保険。



MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

全体目次

2017年度第1四半期決算の概要

グループ連結	資料1-5
国内損害保険会社	資料6-10
国内生命保険会社	資料11-12
海外保険子会社	資料13

2017年度第1四半期決算データ

三井住友海上 (単体)	資料14-16
あいおいニッセイ同和損保 (単体)	資料17-19
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保 (単体単純合算)	資料20-22
(参考) MS Amlin 2017年度第1四半期(2017年1-3月期)業績	資料23
(参考) ESRの状況	資料24

2017年度業績予想

グループ連結	資料25-29
今回業績予想の主な前提	資料30
三井住友海上 (単体)	資料31-32
あいおいニッセイ同和損保 (単体)	資料33-34
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保 (単体単純合算)	資料35-36

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))

2017年度第1四半期決算の概要

グループ連結	資料 1-5
国内損害保険会社	資料 6-10
国内生命保険会社	資料 11-12
海外保険子会社	資料 13

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

MS & ADホールディングス広報・IR部長の塩野でございます。

本日は、お忙しい中、弊社の決算電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。

資料1 グループ連結（2017年度第1四半期）①業績の概要 1

- 正味収入保険料は、海外保険子会社で円高により減収となったものの、国内損保の火災保険や自賠責保険などの増収により、前年同期比 1.2%増収の9,552億円
- 国内生保子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の変額保険の減収を主因に、前年同期比 Δ 7.3%減収の3,315億円

損保子会社

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	2017年度	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料) [※]	9,586	9,820	234	2.4%
正味収入保険料 [※]	9,442	9,552	110	1.2%
三井住友海上	3,626	3,770	143	3.9%
あいおいニッセイ同和損保	3,004	3,122	117	3.9%
三井ダイレクト損保	93	94	1	1.3%
海外保険子会社	2,703	2,552	Δ 150	Δ 5.6%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

生保子会社

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	2017年度	
			前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料) [※]	3,576	3,315	Δ 260	Δ 7.3%
三井住友海上あいおい生命	1,136	1,182	45	4.0%
三井住友海上プライマリー生命	2,439	2,133	Δ 306	Δ 12.6%
生命保険料	3,028	2,472	Δ 555	Δ 18.4%

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

それでは、「2017年度第1四半期決算 電話会議 資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧ください。

まず、グループのトップラインの状況について説明いたします。

正味収入保険料は、海外保険子会社で円高の影響により減収となったものの、国内損保が、火災保険や自賠責保険などで増収したことにより、全体では+1.2%増収の9,552億円となりました。

生命保険子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の変額保険の減収を主因に、 Δ 7.3%減収の3,315億円となりました。

資料2 グループ連結（2017年度第1四半期）①業績の概要 2

- ・ 経常利益は、国内損保および国内生保の増益により、前年同期比 +153.1%増益の 1,245億円
- ・ 四半期純利益は、前年同期比 +140.9%増益の 916億円

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
経常利益	492	1,245	753	153.1%
三井住友海上	418	878	460	109.9%
あいおいニッセイ同和損保	255	309	54	21.2%
三井ダイレクト損保	11	13	1	16.3%
三井住友海上あいおい生命	42	49	7	17.0%
三井住友海上プライマリー生命	△ 144	53	197	-
海外保険子会社	72	45	△ 26	△ 37.1%
その他・連結調整等	△ 165	△ 106	58	-
四半期純利益 [※]	380	916	536	140.9%
三井住友海上	322	666	344	106.7%
あいおいニッセイ同和損保	160	224	63	39.5%
三井ダイレクト損保	9	12	2	31.8%
三井住友海上あいおい生命	17	24	6	39.2%
三井住友海上プライマリー生命	55	34	△ 21	△ 39.2%
海外保険子会社	75	49	△ 25	△ 34.1%
その他・連結調整等	△ 261	△ 95	166	-

※ 連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載。子会社の四半期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

次に、「資料2」をご覧ください。

グループのボトムラインの状況について説明いたします。

経常利益は、国内損保および国内生保の増益により、前年同期比 +153.1%増益の、1,245億円となりました。四半期純利益につきましても、+140.9%増益の、916億円となりました。詳細につきましては、後ほど、ご説明いたします。

資料3 グループ連結（2017年度第1四半期）②グループコア利益

- ・グループコア利益は、国内損保の増益を主因に、前年同期比 216億円増益の 780億円
- ・国内損保の公表コンバインドレシオは、前年同期比 △1.9pt低下の 87.0%

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
グループコア利益 ※1	564	780	216
国内損保事業	412	670	258
国内生保事業	72	58	△ 14
海外事業	79	43	△ 35
金融サービス事業/リスク関連事業	0	7	7
その他経営数値目標			
コンバインド・レシオ(国内損保)※2	88.9%	87.0%	△ 1.9pt
MSA生命EV増加額※3			
グループROE ※1,3			

※1 「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページご参照

※2 「コンバインド・レシオ(国内損保)」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保の合計

※3 「MSA生命EV増加額」は半期ごと、「グループROE」は年度末に開示

(参考)

グループ コア利益 780	=	連結 四半期 純利益 916	-	株式 キャピタル 損益 215	-	クレジット デリバティブ 評価損益 △0	-	その他 特殊 要因※4 △80	+	非連結 グループ会社 持分利益 △1
---------------------	---	-------------------------	---	--------------------------	---	-------------------------------	---	--------------------------	---	-----------------------------

※4 のれん償却等△72、特別損益(除く価格変動準備金)△8

次に「資料3」をご覧ください。

グループコア利益は、国内損保の増益を主因に、+216億円増益の780億円となりました。

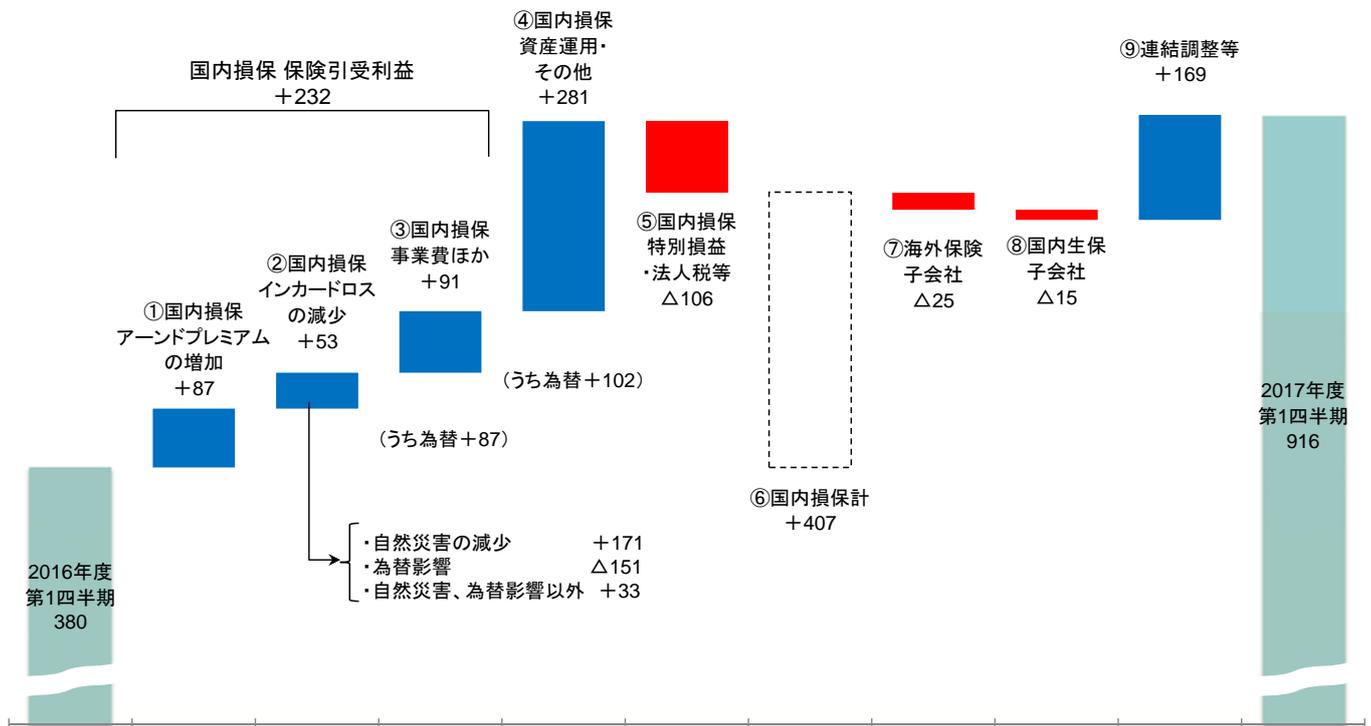
四半期純利益からの主な調整は、スライド下段に記載のとおりです。

資料4 グループ連結（2017年度第1四半期）③前年同期との比較 1

- 増益の主因は、⑥国内損保と⑨連結調整等
- ⑥の国内損保は、①アードプレミアムの増加、②自然災害の減少によるインカードロスの減少および④資産運用・その他の増加。
- ⑨連結調整等は、前期の「第三分野保有契約移行に係るシステム関連費」がなくなったことが主因

四半期純利益

(億円)



次に、「資料4」をご覧ください。

グラフを使って、2017年度第1四半期連結純利益の対前年変動要因を説明します。
なお「資料5」に四半期純利益の内訳を記載しておりますので、併せてご参照ください。

前年同期比 +536億円の増益の要因は、⑥番の国内損保と、
⑨番の連結調整等です。

⑥番の国内損保のうち保険引受利益は、①番のアードプレミアムの増加に加え、
前年同期に比べ自然災害が少なかったことにより②番のインカードロスが減少したこと、
などから、前年同期比 +232億円増加しました。

次に、④番の資産運用・その他は、政策株式の売却を前倒しで進めたことにより、
有価証券売却益が増加したことなどから、前年同期比 +281億円増加しました。

⑨番の連結調整等は、前年同期に計上した、第三分野保有契約移行に関わるシステム関連費用
がなくなったことを主な要因として、前年同期比 +169億円となりました。

四半期純利益の内訳

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	差額
四半期純利益	380	916	536
国内損保 ^{※1} 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	246	479	232
アードプレミアム ①	5,743	5,831	87
インカードロス(含む損害調査費) ②	△ 3,124	△ 3,070	53
事業費ほか ^{※2} ③	△ 2,372	△ 2,281	91
資産運用・その他 ④	427	709	281
特別損益・法人税等 ⑤	△ 190	△ 297	△ 106
国内損保計 ⑥	483	891	407
海外保険子会社 ⑦	75	49	△ 25
国内生保子会社 ⑧	73	58	△ 15
連結調整等 ⑨	△ 251	△ 82	169

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、異常危険準備金、為替損益などが含まれる

(空白)

資料6 国内損害保険会社（2017年度第1四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は、火災保険および自賠責保険の増収を主因に、2社合計で 260億円増収の 6,892億円
- ・ 保険引受利益は、2社合計で 232億円増益の 479億円

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
	(億円)					
正味収入保険料	3,770	143	3,122	117	6,892	260
正味収入保険料 増収率	3.9%	5.9pt	3.9%	2.8pt	3.9%	4.5pt
正味支払保険金 (－)	1,915	71	1,494	2	3,410	74
<インカードロス(含む損害調査費)> (－)	2,070	△ 157	1,667	△ 38	3,738	△ 195
諸手数料及び集金費 (－)	658	21	620	34	1,278	55
営業費及び一般管理費(保険引受) (－)	516	△ 12	428	△ 12	945	△ 25
異常危険準備金反映前保険引受利益	445	158	272	77	718	236
異常危険準備金取崩額(△は繰入)	△ 124	3	△ 113	△ 6	△ 238	△ 3
保険引受利益	320	161	159	71	479	232
諸比率						
正味損害率	56.5%	△ 0.4pt	52.6%	△ 1.9pt	54.7%	△ 1.1pt
正味事業費率	31.2%	△ 1.0pt	33.6%	△ 0.6pt	32.3%	△ 0.8pt
コンバインド・レシオ	87.7%	△ 1.4pt	86.2%	△ 2.5pt	87.0%	△ 1.9pt
<除く家計地震・自賠責>						
正味損害率	53.6%	1.0pt	49.3%	△ 0.5pt	51.7%	0.4pt
正味事業費率	33.0%	△ 0.9pt	35.0%	△ 0.7pt	33.9%	△ 0.8pt
コンバインド・レシオ	86.6%	0.1pt	84.3%	△ 1.2pt	85.6%	△ 0.4pt

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損害保険会社の状況について、主要2社の合計で説明いたします。
「資料6」の右端の、2社合計をご参照下さい。

まず正味収入保険料は、先ほどご説明致しましたように、火災保険や自賠責保険などで増収し、2社合計で、前年同期比 +260億円増収の、6,892億円となりました。

保険引受利益は、アードプレミアムの増加や、自然災害の減少によるインカードロスの減少、などにより、+232億円増益の479億円となりました。

資料7 国内損害保険会社（2017年度第1四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・資産運用・その他収支は、有価証券売却益の増加を主因に、前年同期比 281億円増加の 709億円
- ・四半期純利益は、前年同期比 407億円増益の 891億円
- ・政策株式は、2社合計で 471億円を売却

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	320	161	159	71	479	232
ネット利息及び配当金収入	293	38	151	20	444	59
有価証券売却損益	271	158	18	△ 28	290	130
有価証券評価損 (－)	5	△ 9	0	△ 9	5	△ 19
資産運用・その他収支	558	298	150	△ 17	709	281
経常利益	878	460	309	54	1,188	514
特別損益	△ 11	3	△ 14	38	△ 25	41
税引前四半期純利益	867	463	295	92	1,162	556
四半期純利益	666	344	224	63	891	407
	2社合計					
		前年同期比				
(参考)政策株式売却額	471	165				

次に、「資料7」をご覧ください。

資産運用・その他収支については、有価証券の売却益やネット利配収入の増加、などから、前年同期比 281億円増加の、709億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同期比 +514億円増益の 1,188億円、四半期純利益は +407億円増益の 891億円となりました。

なお、当四半期での政策株式の売却額は、2社合計で、471億円です。

・自然災害に係るインカードロスは、2社合計で、熊本地震のあった前年同期から△171億円減少の11億円

自然災害の影響

(億円)

	インカードロス		支払保険金		支払備金繰入額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
当年度発生国内自然災害	11	△ 171	5	△ 29	6	△ 141
三井住友海上	9	△ 114	4	△ 15	4	△ 99
あいおいニッセイ同和損保	1	△ 56	0	△ 14	1	△ 42
合 計	11	△ 171	5	△ 29	6	△ 141

前年同期の熊本地震に係るインカードロス(除く家計地震)は 126億円(MS 91億円、AD 34億円)

次に、当期の自然災害の影響を説明いたします。「資料8」をご覧ください。

一番下の行の左端にあるとおり、2社合算のインカードロスは、熊本地震のあった前年同期に比べ、△171億円減少の、11億円となりました。

資料9 国内損害保険会社（2017年度第1四半期）③異常危険準備金

- ・異常危険準備金のネット繰入額は、2社合計で前期並みの 238億円
- ・三井住友海上では火災保険の繰入率を9%から5%に変更（通期では、約△80億円の繰入減）

異常危険準備金

(億円)

		取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高
					前年同期比	
三井住友海上	火災	3	21	18	△2	1,478
	海上	0	6	6	△0	788
	傷害	-	12	12	0	689
	自動車	-	54	54	0	644
	その他	0	33	33	△1	1,813
	合計	3	128	124	△3	5,413
あいおいニッセイ 同和損保	火災	-	33	33	5	1,298
	海上	-	0	0	0	139
	傷害	-	5	5	△0	656
	自動車	-	56	56	△0	495
	その他	0	18	18	0	659
	合計	0	113	113	6	3,250
2社合計 (単純合計)	火災	3	54	51	3	2,777
	海上	0	6	6	△0	927
	傷害	-	17	17	0	1,346
	自動車	-	110	110	0	1,139
	その他	0	51	51	△0	2,472
	合計	3	242	238	3	8,664

次に、「資料9」をご覧ください。異常危険準備金の状況を説明いたします。

一番下の行にある、全種目合計の異常危険準備金のネット繰入額は、ほぼ前年同期並みの238億円となりました。

なお、三井住友海上、MSでは、火災保険の異常危険準備金の繰入率を、当期より9%から5%に変更しております。

資料10 国内損害保険会社（2017年度第1四半期）④自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、6月末累計で前年比 +0.9%の増加。修理費等の上昇により、対物・車両の保険金単価は引き続き上昇
- ・ EI損害率は、アードプレミアムの増加および、インカードロスの減少により、前年同期比 $\Delta 1.2$ pt 低下の 53.9%

事故件数の推移（除く自然災害）

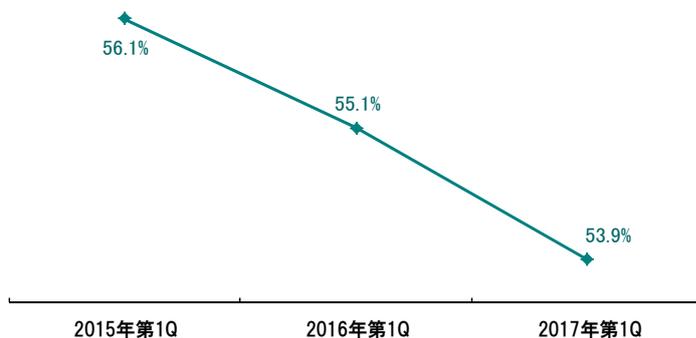
（MS・AD 2社単純合算ベース）

（国内、1日あたり、対前年同月）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）

（MS・AD 2社単純合算ベース）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.2%	+0.2%	+0.5%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.4%	+0.3%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+1.9%	$\Delta 1.7\%$	+0.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.6%	$\Delta 0.0\%$	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-6月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2017年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2017年6月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-6月

※ 事故件数の推移（1日あたり、対前年同月）の、2016年度6月のデータ誤りを訂正（1.6%→0.8%）

次に「資料10」をご覧ください。自動車保険の状況を説明いたします。

上段左の折れ線グラフは、2社合算の自動車保険の事故件数の、前年同月比増減を示しています。

事故件数の前年同月比増減の推移は、昨年、やや右肩上がりの傾向となっておりましたが、当四半期では、増加率が低下してきております。

引き続き、この動向には注視が必要と考えております。

また、スライド下段の保険金単価ですが、修理費等の上昇により対物および車両の保険金単価が上昇しており、こちらも引き続き注視が必要と考えております。

次に、下段にある「保険料の増減要因」の表をご覧ください。

契約台数は、MSが +0.2%、あいおいニッセイ同和損保、ADが +1.9%と、増加傾向を維持しました。

保険料単価は、MSが +0.2%となりましたが、ADは、ノンフリート複数台割引やフリートの増加により、 $\Delta 1.7\%$ となりました。

2社合算のEI損害率は、上段右のグラフの通り前年同期比 $\Delta 1.2$ ポイント低下し、53.9%となりました。

資料11 国内生命保険会社（三井住友海上あいおい生命） 業績概要

- ・新契約高は、新商品を発売した収入保障保険の大幅な増加を主因に、前年同期比 27.1%増加の 6,298億円
- ・新契約年換算保険料（第三分野）は、前年同期比 Δ 9.6%減少の30億円
- ・四半期純利益は、前年同期比 6億円増益の 24億円

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2016年度		2017年度		増減率
	第1四半期		第1四半期		
				前年同期比	
新契約高（個人合計）		4,957	6,298	1,341	27.1%
新契約年換算保険料		99	84	Δ 14	Δ 14.5%
うち 第三分野		34	30	Δ 3	Δ 9.6%
保有契約高（個人合計）	(期首)	232,142	233,210	(期首比) 1,067	0.5%
保有契約年換算保険料	(期首)	4,010	4,028	(期首比) 17	0.4%
うち 第三分野	(期首)	884	901	(期首比) 17	1.9%
保険料(グロス収入保険料)		1,136	1,182	45	4.0%
経常利益		42	49	7	17.0%
特別損益		Δ 1	Δ 1	Δ 0	-
四半期純利益		17	24	6	39.2%
基礎利益		49	38	Δ 11	Δ 23.5%

次にMSA生命の状況について説明します。「資料11」をご覧ください。

新契約高は、新商品を発売した収入保障保険の大幅な増加を主因に、前年同期比 +27.1%増加の、6,298億円となりました。

一方、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期に発売した、新医療保険エースプラスの反動減により、 Δ 9.6%減少の、30億円となりました。

保有契約高は、期首比 +0.5%の増加、

保有契約年換算保険料は、同じく +0.4%の増加となり、着実に契約を積み重ねております。

四半期純利益は、+6億円増益の、24億円となりました。

- ・ グロス収入保険料は、変額保険の減少を主因に、前年同期比 $\Delta 12.6\%$ 減収の 2,133億円
- ・ 四半期純利益は、前年同期比 $\Delta 21$ 億円減益の 34億円

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	2,335	2,131	$\Delta 204$	$\Delta 8.7\%$
保有契約高（個人合計）	(期首) 56,807	58,620	(期首比) 1,812	3.2%
保険料(グロス収入保険料)	2,439	2,133	$\Delta 306$	$\Delta 12.6\%$
経常利益	$\Delta 144$	53	197	-
特別損益	220	$\Delta 6$	$\Delta 227$	$\Delta 103.0\%$
四半期純利益	55	34	$\Delta 21$	$\Delta 39.2\%$

金利・為替影響と価格変動準備金

(億円)

金利影響	$\Delta 194$	$\Delta 43$
為替影響	$\Delta 115$	$\Delta 24$
小計	$\Delta 309$	$\Delta 67$
売却益	83	-
合計	$\Delta 225$	$\Delta 67$
上記に対応する 価格変動準備金取崩	225	※ -

※ 2017年度第1四半期は、豪州金利低下などにより資産に評価益が生じ、価格変動準備金の法令上の取崩要件を満たさなかったため、取り崩しは行っていない。

続いてMSP生命の業績を説明いたします。「資料12」をご覧ください。

グロス収入保険料は、変額保険の販売が減少したことを主因に、前年同期に比べ、 $\Delta 12.6\%$ 減収の、2,133億円となりました。

経常利益は、前年同期に比べオーストラリアの金利の低下幅が縮小したことにより、責任準備金の繰入負担が減少したことを主因に増益となりました。

四半期純利益は、価格変動準備金の取り崩しがあった前年同期に比べ、 $\Delta 21$ 億円減益の、34億円となりました。

なお、価格変動準備金の取り崩しについて、当期は金利低下や円安豪ドル高により資産に評価益が生じたため、行っておりません。

資料13 海外保険子会社（2017年度第1四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は、現地通貨ベースでは 7.0%増収したが、円高により △5.6%減収の2,552億円
- ・ 四半期純利益は、MS Amlinにおけるインカードロスの増加などにより、25億円減益の49億円

海外保険子会社

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	2,703	2,552	△ 150	△ 5.6%
アジア	407	408	1	0.3%
欧州	2,172	2,011	△ 161	△ 7.4%
(うちMS Amlin [※])	2,016	1,849	△ 166	△ 8.3%
米州	123	133	9	7.7%
四半期純利益	75	49	△ 25	△ 34.1%
アジア	25	28	3	12.4%
欧州	46	19	△ 26	△ 58.2%
(うちMS Amlin [※])	64	24	△ 40	△ 62.6%
米州	3	1	△ 1	△ 61.3%

※ 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料13」をご覧ください。

正味収入保険料は、全地域で増収し、現地通貨ベースでは、+7.0%の増収となりましたが、円高により、△5.6%減収の2,552億円となりました。

四半期純利益は、MSアムリンが、中規模ロスの増加や、過年度の支払い備金の積み増しなどにより、△40億円の減益となったことで、△25億円の減益となっております。

次のパートの「資料14」から「資料22」まで、MSとADそれぞれの単体、および2社単体の単純合算の業績を付けております。

また、参考資料として、「資料23」にMSアムリンの第1四半期の業績を、「資料24」にESRの状況を付けておりますので、後ほどご覧ください。

なおESRは引き続き、健全な水準を維持しております。

以上で、私からのご説明を終わります。

2017年度第1四半期決算 データ

三井住友海上(単体)	資料14-16
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料17-19
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算)	資料20-22
(参考)MS Amlin 2017年度(2017年1-3月期)業績	資料23
(参考)ESRの状況	資料24

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料14 三井住友海上(単体) 2017年度第1四半期業績①

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	3,626	3,770	143
正味収入保険料 増収率	Δ2.0%	3.9%	5.9pt
正味損害率	56.9%	56.5%	Δ0.4pt
正味事業費率	32.2%	31.2%	Δ1.0pt
コンバインド・レシオ	89.1%	87.7%	Δ1.4pt
インカードロス(含む損害調査費)	2,227	2,070	Δ157
保険引受利益	159	320	161
ネット利息及び配当金収入	254	293	38
有価証券売却損益	113	271	158
有価証券評価損	Δ 15	Δ 5	9
資産運用損益	259	555	296
経常利益	418	878	460
特別損益	Δ 14	Δ 11	3
四半期純利益	322	666	344
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	Δ1.8%	3.0%	4.8pt
正味損害率	52.6%	53.6%	1.0pt
正味事業費率	33.9%	33.0%	Δ0.9pt
コンバインド・レシオ	86.5%	86.6%	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	1,793	1,713	Δ 80

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
 ※「正味損害率」は「リトン・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料15 三井住友海上（単体）2017年度第1四半期業績②

正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度	増収率
	第1四半期	第1四半期	
火災	366	433	18.2%
海上	158	151	△4.6%
傷害	387	399	3.0%
自動車	1,676	1,692	1.0%
自賠責	415	462	11.3%
その他	622	631	1.5%
合計	3,626	3,770	3.9%
除く家計地震・自賠責	3,209	3,306	3.0%

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第1四半期	第1四半期	
火災	72.0%	66.0%	△6.0pt
海上	54.4%	55.5%	1.1pt
傷害	49.6%	48.4%	△1.2pt
自動車	52.7%	54.7%	2.0pt
自賠責	90.3%	77.3%	△13.0pt
その他	42.1%	44.7%	2.6pt
合計	56.9%	56.5%	△0.4pt
除く家計地震・自賠責	52.6%	53.6%	1.0pt

資料16 三井住友海上（単体）2017年度第1四半期業績③

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2016年度 第1四半期					2017年度 第1四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	331	66.4%	119	212	42.6%	253	49.6%	8	245	48.0%	5.4pt
海上	83	49.8%	0	83	49.8%	88	53.2%	0	88	53.2%	3.4pt
傷害	180	55.1%	0	180	55.1%	176	53.0%	—	176	53.0%	△2.1pt
自動車	927	56.3%	2	925	56.2%	870	52.4%	0	869	52.4%	△3.8pt
その他	270	47.0%	2	267	46.5%	323	54.9%	0	323	54.9%	8.4pt
合計(A)	1,793	55.8%	124	1,669	51.9%	1,713	52.5%	9	1,703	52.2%	0.3pt
家計地震(B)	59		59	—		—		—	—		
自賠責(C)	374		—	374		357		—	357		
合計(A)+(B)+(C)	2,227		183	2,043		2,070		9	2,061		

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

資料17 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第1四半期業績①

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	3,004	3,122	117
正味収入保険料 増収率	1.1%	3.9%	2.8pt
正味損害率	54.5%	52.6%	△1.9pt
正味事業費率	34.2%	33.6%	△0.6pt
コンバインド・レシオ	88.7%	86.2%	△2.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	1,706	1,667	△38
保険引受利益	87	159	71
ネット利息及び配当金収入	130	151	20
有価証券売却損益	47	18	△28
有価証券評価損	△10	△0	9
資産運用損益	143	142	△1
経常利益	255	309	54
特別損益	△53	△14	38
四半期純利益	160	224	63
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	2.1%	3.1%	1.0pt
正味損害率	49.8%	49.3%	△0.5pt
正味事業費率	35.7%	35.0%	△0.7pt
コンバインド・レシオ	85.5%	84.3%	△1.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	1,330	1,357	26

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

資料18 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第1四半期業績②

正味収入保険料

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増収率
火災	323	402	24.4%
海上	12	18	46.7%
傷害	168	166	△0.7%
自動車	1,770	1,767	△0.1%
自賠責	381	419	9.9%
その他	348	346	△0.4%
合計	3,004	3,122	3.9%
除く家計地震・自賠責	2,621	2,701	3.1%

正味損害率

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
火災	53.1%	47.2%	△5.9pt
海上	45.5%	41.1%	△4.4pt
傷害	43.5%	43.5%	0.0pt
自動車	50.6%	51.8%	1.2pt
自賠責	87.1%	74.0%	△13.1pt
その他	45.7%	42.2%	△3.5pt
合計	54.5%	52.6%	△1.9pt
除く家計地震・自賠責	49.8%	49.3%	△0.5pt

資料19 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第1四半期業績③

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

（億円）

	2016年度第1四半期					2017年度第1四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	インカード ロス (c)	E I 損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	207	53.2%	55	152	39.1%	183	43.4%	0	183	43.2%	4.1pt
海上	3	24.6%	—	3	24.6%	12	74.7%	—	12	74.7%	50.1pt
傷害	72	48.1%	0	72	48.1%	76	51.0%	—	76	51.0%	2.9pt
自動車	911	53.9%	2	908	53.8%	940	55.4%	1	939	55.3%	1.5pt
その他	135	48.1%	1	134	47.6%	143	51.2%	0	143	51.2%	3.6pt
合計(A)	1,330	52.6%	58	1,271	50.3%	1,357	52.8%	1	1,355	52.7%	2.4pt
家計地震(B)	43		43	—		—		—	—		
自賠責(C)	332		—	332		310		—	310		
合計(A)+(B)+(C)	1,706		101	1,604		1,667		1	1,665		

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

資料20 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）①

（億円）

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	6,631	6,892	260
正味保険料 増収率	Δ0.6%	3.9%	4.5pt
正味損害率	55.8%	54.7%	Δ1.1pt
正味事業費率	33.1%	32.3%	Δ0.8pt
コンバインド・レシオ	88.9%	87.0%	Δ1.9pt
インカードロス(含む損害調査費)	3,934	3,738	Δ195
保険引受利益	246	479	232
ネット利息及び配当金収入	385	444	59
有価証券売却損益	160	290	130
有価証券評価損	Δ25	Δ5	19
資産運用損益	403	698	295
経常利益	674	1,188	514
特別損益	Δ67	Δ25	41
四半期純利益	483	891	407
＜ 除く家計地震・自賠責＞			
正味保険料 増収率	Δ0.1%	3.0%	3.1pt
正味損害率	51.3%	51.7%	0.4pt
正味事業費率	34.7%	33.9%	Δ0.8pt
コンバインド・レシオ	86.0%	85.6%	Δ0.4pt
インカードロス(含む損害調査費)	3,124	3,070	Δ53

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

資料21 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）②

正味収入保険料

(億円)

正味損害率

	2016年度	2017年度	増収率
	第1四半期	第1四半期	
火災	690	835	21.1%
海上	171	170	△0.7%
傷害	555	565	1.9%
自動車	3,446	3,460	0.4%
自賠責	796	881	10.6%
その他	970	978	0.8%
合計	6,631	6,892	3.9%
除く家計地震・自賠責	5,830	6,007	3.0%

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第1四半期	第1四半期	
火災	63.1%	57.0%	△6.1pt
海上	53.7%	53.9%	0.2pt
傷害	47.8%	46.9%	△0.9pt
自動車	51.6%	53.2%	1.6pt
自賠責	88.8%	75.8%	△13.0pt
その他	43.4%	43.8%	0.4pt
合計	55.8%	54.7%	△1.1pt
除く家計地震・自賠責	51.3%	51.7%	0.4pt

資料22 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）③

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2016年度第1四半期					2017年度第1四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	539	60.6%	174	365	41.0%	437	46.8%	8	428	45.8%	4.8pt
海上	87	47.6%	0	87	47.6%	101	55.2%	0	101	55.2%	7.6pt
傷害	252	52.9%	0	252	52.9%	252	52.4%	-	252	52.4%	△0.5pt
自動車	1,838	55.1%	4	1,834	55.0%	1,811	53.9%	2	1,809	53.8%	△1.2pt
その他	405	47.4%	4	401	46.9%	467	53.7%	0	467	53.7%	6.8pt
合計(A)	3,124	54.4%	183	2,940	51.2%	3,070	52.7%	11	3,058	52.5%	1.3pt
家計地震(B)	102		102	-		-		-	-		
自賠責(C)	707			707		668		-	668		
合計(A)+(B)+(C)	3,934		285	3,648		3,738		11	3,726		

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

資料23 (ご参考) MS Amlin 2017年度第1四半期 (2017年1-3月期) 業績

(百万ポンド)

	2016年度 ^{※1} 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	1,226	1,313	86
正味経過保険料	682	681	Δ1
インカードロス(含む損害調査費)	372	438	65
手数料・社費	259	267	7
保険引受利益	59	Δ39	Δ99
資産運用損益 ^{※2}	Δ0	69	69
その他損益 ^{※3}	Δ27	Δ21	5
当期純利益	39	17	Δ22
E/I 損害率	55%	64%	9pt
E/I 事業費率 ^{※4}	36%	42%	6pt
E/I コンバインド・レシオ ^{※4}	91%	106%	15pt

※1 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示

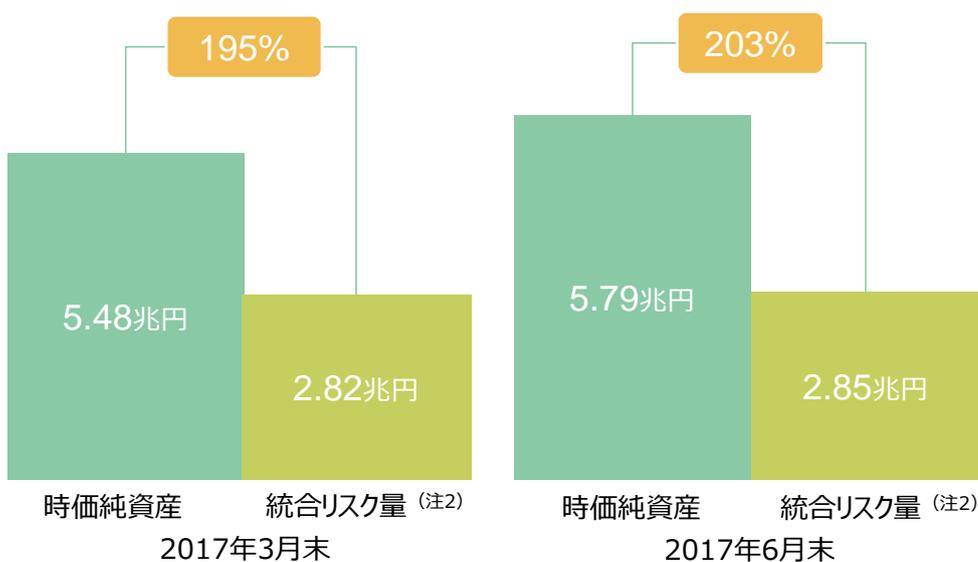
※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 その他損益の主な項目は保険事業会社以外で生じる経費等

※4 E/I 事業費率及びE/I コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

資料24 (ご参考) ESRの状況

ESR^(注1)



ESRは、主に以下のような要因により、8pt増加

- ↗ 株価上昇による資産時価の増加(時価純資産の増加)
- ↘ 株価上昇による株式リスクの増加
- ↗ 利益の積み上げによる時価純資産の増加
- ↗ 政策株式の売却による株式リスクの減少
- ↗ 国内金利イールドカーブの形状変化に伴う、経済価値ベースの保険負債の減少(時価純資産の増加)および生保引受リスク・金利リスクの減少

<市場環境前提>

	2017年 3月末	2017年 6月末	対3月末
日経平均株価	18,909円	20,033円	+1,124円
為替 (ドル円)	112円	112円	▲0円
国債30年金利	0.85%	0.85%	▲0pt

(注1) ESR : エコノミック・ソルベンシー・レシオ (=時価純資産 ÷ 統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

以降のスライドに、2017年度業績
 予想(2017年5月19日発表)の
 資料を掲載しています。

<ご参考> 2017年度業績予想 (2017年5月19日発表)

グループ連結	資料25-29
今回業績予想の主な前提	資料30
三井住友海上(単体)	資料31-32
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料33-34
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算)	資料35-36

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料25 グループ連結 2017年度業績予想 ①

2017年度業績予想
 (2017年5月19日発表)内容

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)		
			前期比	増収率
正味収入保険料 [※]	34,069	34,500	430	1.3%
三井住友海上	14,696	14,880	183	1.2%
あいおいニッセイ同和損保	12,005	12,190	184	1.5%
三井ダイレクト損保	376	388	11	3.0%
海外保険子会社	6,931	7,000	68	1.0%
生命保険料	12,531	9,490	△ 3,041	△ 24.3%

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考: 保険料(グロス収入保険料)>

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)		
			前期比	増収率
三井住友海上あいおい生命	4,789	4,943	153	3.2%
三井住友海上プライマリー生命	10,711	8,000	△ 2,711	△ 25.3%

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
経常利益	3,526	3,450	△ 76
三井住友海上	2,155	2,250	94
あいおいニッセイ同和損保	751	700	△ 51
当期純利益※	2,104	2,450	345
三井住友海上	1,645	1,660	14
あいおいニッセイ同和損保	503	490	△ 13
三井ダイレクト損保	△ 9	2	11
三井住友海上あいおい生命	45	30	△ 15
三井住友海上プライマリー生命	207	140	△ 67
海外保険子会社	240	450	209
その他・連結調整等	△ 529	△ 322	207
ROE(財務会計ベース)	7.8%	8.9%	1.1pt

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)		
			前期比	増収率
子会社 合計	6,931	7,000	68	1.0%
アジア	1,545	1,615	69	4.5%
欧州	4,931	4,888	△ 43	△ 0.9%
(うちMS Amlin)	4,558	4,481	△ 77	△ 1.7%
米州	454	497	42	9.3%

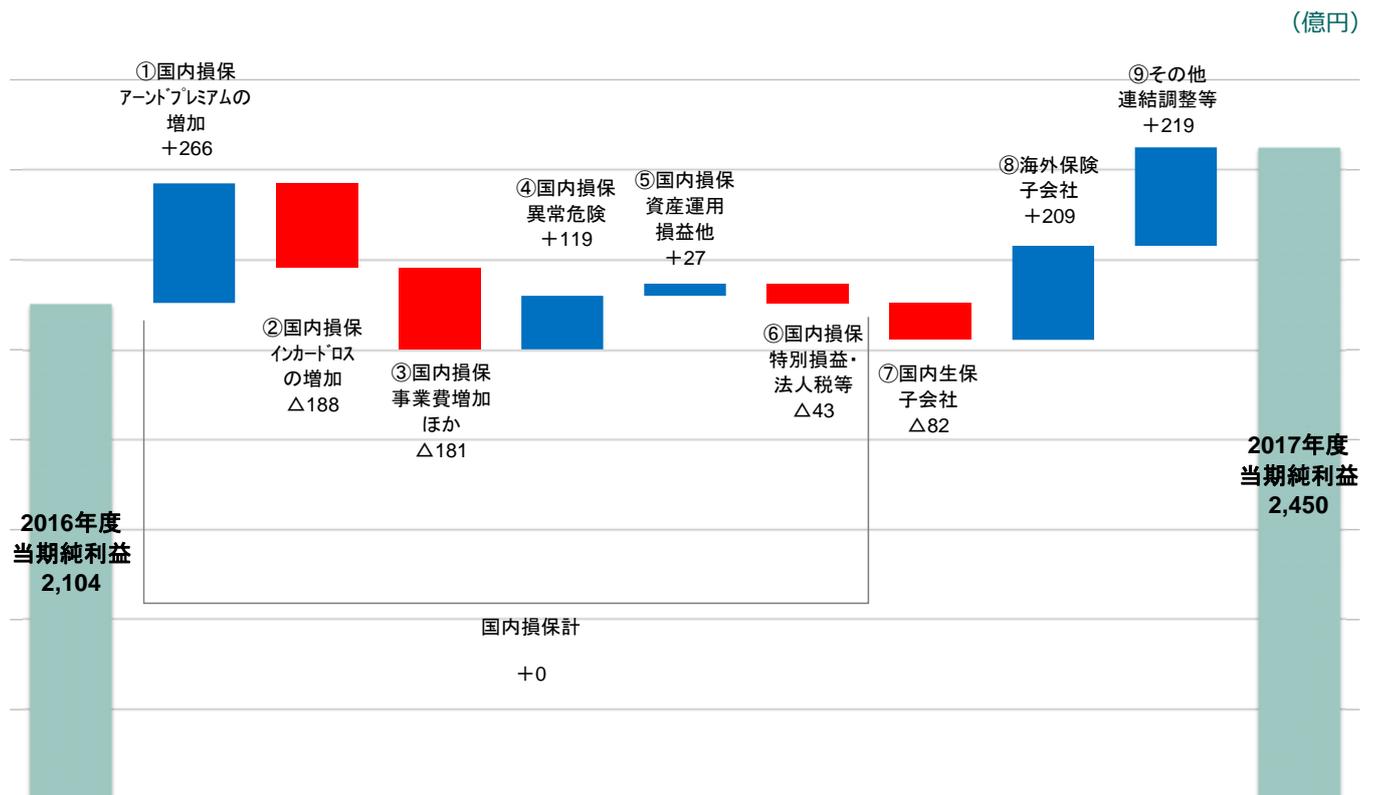
当期純利益

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
子会社 合計	240	450	209
アジア	132	133	0
欧州	77	291	214
(うちMS Amlin)	123	301	177
米州	30	26	△ 5

※ MS Amlinの数値は、ロイズ・再保険事業統合後ベース。
2016年度は、統合前のロイズと再保険会社の業績の単純合算値を記載。

連結純利益の前年同期比増減要因



※ 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の単純合計

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
グループコア利益	2,137	2,300	162
国内損保事業	1,533	1,450	△ 83
国内生保事業	251	170	△ 81
海外事業※	346	640	293
金融サービス事業/リスク関連事業	5	40	34
その他の事業数値			
コンバインドレシオ(国内損保)	92.6%	92.9%	0.3pt
MSA生命EV増加額	1,984	500	△ 1,484
グループROE	7.9%	8.4%	0.5pt

※ 海外事業のグループコア利益の2017年度予想には、マックス生命の合併に係る株式の交換利益(約210億円)を含む

		三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保	
市場環境の前提		2017年3月末の水準を想定 (参考(2017年3月末) 日経平均 18,909円、米ドル 112円、ユーロ 120円、英ポンド 140円)			
当年度発生国内自然災害		300億円	(△43億円)	200億円	(+32億円)
異常危険準備金 (火災保険)	繰入	173億円	(△56億円)	141億円	(△3億円)
	取崩	136億円	(△35億円)	37億円	(+37億円)
	積増	37億円	(△20億円)	104億円	(△40億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入	209億円	(△1億円)	219億円	(+1億円)
	取崩	-	(-)	149億円	(+70億円)
	積増	209億円	(△1億円)	70億円	(△69億円)
法定実効税率		28.2%			

※()内は前期比

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
正味収入保険料	14,696	14,880	183
正味収入保険料 増収率	△2.5%	1.2%	3.7pt
正味損害率	61.2%	60.3%	△ 0.9pt
正味事業費率	31.2%	31.6%	0.4pt
コンバインド・レシオ	92.4%	91.9%	△ 0.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	8,930	8,918	△ 12
保険引受利益	817	820	2
ネット利息及び配当金収入	812	690	△ 122
有価証券売却損益	672	634	△ 39
有価証券評価損	△ 4	△ 30	△ 25
資産運用損益 ※	1,394	1,476	81
経常利益	2,155	2,250	94
特別損益	△ 70	△ 27	44
当期純利益	1,645	1,660	14
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	△2.9%	1.7%	4.6pt
正味損害率	58.0%	57.2%	△ 0.8pt
正味事業費率	33.2%	33.5%	0.3pt
コンバインド・レシオ	91.2%	90.7%	△ 0.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,384	7,410	25

※ 2017年度の資産運用損益には、マックス生命の合併に係る株式の交換利益(約220億円)を含む

正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			増収率
火災	1,838	1,910	3.9%
海上	586	585	△0.2%
傷害	1,435	1,445	0.7%
自動車	6,541	6,603	0.9%
自賠償	1,868	1,832	△2.0%
その他	2,425	2,506	3.3%
合計	14,696	14,880	1.2%
除く家計地震・自賠償	12,820	13,043	1.7%

正味損害率

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
火災	72.0%	63.4%	△ 8.6pt
海上	61.3%	60.0%	△ 1.3pt
傷害	54.3%	53.5%	△ 0.8pt
自動車	57.3%	57.9%	0.6pt
自賠償	80.3%	82.1%	1.8pt
その他	52.9%	52.2%	△ 0.7pt
合計	61.2%	60.3%	△ 0.9pt
除く家計地震・自賠償	58.0%	57.2%	△ 0.8pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

インカードロス(除く家計地震・自賠償)

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費)※1	7,384	7,410	25
自然災害※2	343	300	△ 43
自然災害以外	7,041	7,110	68

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金増額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
正味収入保険料	12,005	12,190	184
正味収入保険料 増収率	0.7%	1.5%	0.8pt
正味損害率	59.1%	60.2%	1.1pt
正味事業費率	33.5%	33.7%	0.2pt
コンバインド・レシオ	92.6%	93.9%	1.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,246	7,402	155
保険引受利益	395	410	14
ネット利息及び配当金収入	380	350	△ 30
有価証券売却損益	90	85	△ 5
有価証券評価損	△ 49	△ 30	19
資産運用損益	322	280	△ 42
経常利益	751	700	△ 51
特別損益	△ 83	△ 37	46
当期純利益	503	490	△ 13
〈除く家計地震・自賠償〉			
正味収入保険料 増収率	1.0%	2.2%	1.2pt
正味損害率	55.6%	57.0%	1.4pt
正味事業費率	35.2%	35.4%	0.2pt
コンバインド・レシオ	90.8%	92.4%	1.6pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,910	6,074	163

正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			増収率
火災	1,530	1,700	11.1%
海上	54	72	31.7%
傷害	614	602	△2.0%
自動車	6,804	6,827	0.3%
自賠償	1,687	1,646	△2.5%
その他	1,313	1,343	2.2%
合計	12,005	12,190	1.5%
除<家計地震・自賠償>	10,312	10,539	2.2%

正味損害率

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
火災	56.2%	57.3%	1.1pt
海上	48.0%	50.0%	2.0pt
傷害	48.6%	48.5%	△0.1pt
自動車	56.8%	58.6%	1.8pt
自賠償	77.9%	80.7%	2.8pt
その他	55.6%	52.9%	△2.7pt
合計	59.1%	60.2%	1.1pt
除<家計地震・自賠償>	55.6%	57.0%	1.4pt

インカードロス(除<家計地震・自賠償>)

(億円)

	2016年度	2017年度(予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	5,910	6,074	163
自然災害 ^{※2}	167	200	32
自然災害以外	5,742	5,874	131

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

資料35 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

(億円)

	2015年度	2016年度		2017年度(予想)	
			前期比		前期比
正味収入保険料	26,995	26,702	△292	27,070	367
正味収入保険料 増収率	3.6%	△1.1%	△4.7pt	1.4%	2.5pt
正味損害率	59.1%	60.2%	1.1pt	60.2%	0.0pt
正味事業費率	32.5%	32.2%	△0.3pt	32.5%	0.3pt
コンバインド・レシオ	91.6%	92.4%	0.8pt	92.7%	0.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	16,035	16,176	141	16,320	143
保険引受利益	439	1,213	773	1,230	16
ネット利息及び配当金収入	1,189	1,193	3	1,040	△153
有価証券売却損益	1,095	763	△332	719	△44
有価証券評価損	△139	△54	85	△60	△5
資産運用損益	1,877	1,716	△160	1,756	39
経常利益	2,296	2,907	610	2,950	42
特別損益	△320	△154	165	△64	91
当期純利益	1,450	2,149	698	2,150	0
<除<家計地震・自賠償>>					
正味収入保険料 増収率	3.7%	△1.2%	△4.9pt	1.9%	3.1pt
正味損害率	56.1%	56.9%	0.8pt	57.1%	0.2pt
正味事業費率	34.5%	34.1%	△0.4pt	34.3%	0.2pt
コンバインド・レシオ	90.6%	91.0%	0.4pt	91.4%	0.4pt
インカードロス(含む損害調査費)	13,219	13,295	76	13,484	188

※自動車保険「もどりッチ」の払戻金当保険料を控除したベース

正味収入保険料

(億円)

	2016年度		2017年度(予想)	
		増収率		増収率
火災	3,369	△17.8%	3,610	7.2%
海上	641	△11.8%	657	2.5%
傷害	2,049	0.2%	2,047	△0.1%
自動車	13,346	1.3%	13,430	0.6%
自賠償	3,556	△0.4%	3,478	△2.2%
その他	3,739	10.8%	3,849	2.9%
合計	26,702	△1.1%	27,070	1.4%
除く家計地震・自賠償	23,132	△1.2%	23,582	1.9%

正味損害率

	2016年度		2017年度(予想)	
		前期比		前期比
火災	64.8%	11.0pt	60.5%	△4.3pt
海上	60.1%	7.0pt	58.9%	△1.2pt
傷害	52.6%	△3.4pt	52.0%	△0.6pt
自動車	57.0%	△1.6pt	58.2%	1.2pt
自賠償	79.1%	0.1pt	81.4%	2.3pt
その他	53.8%	4.7pt	52.4%	△1.4pt
合計	60.2%	1.1pt	60.2%	0.0pt
除く家計地震・自賠償	56.9%	0.8pt	57.1%	0.2pt

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

インカードロス(除く家計地震・自賠償)

(億円)

	2016年度		2017年度(予想)	
		前期比		前期比
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	13,295	76	13,484	188
自然災害 ^{※2}	510	△170	500	△10
自然災害以外	12,784	246	12,984	199

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。

「グループコア利益」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益(売却損益等) - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因
+ 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 連結純資産(期初・期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分)

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <http://www.ms-ad-hd.com/contact/index.html>